

商業動態統計速報（平成 29 年 3 月分）
 ー持ち直しの動きがみられる小売業販売ー

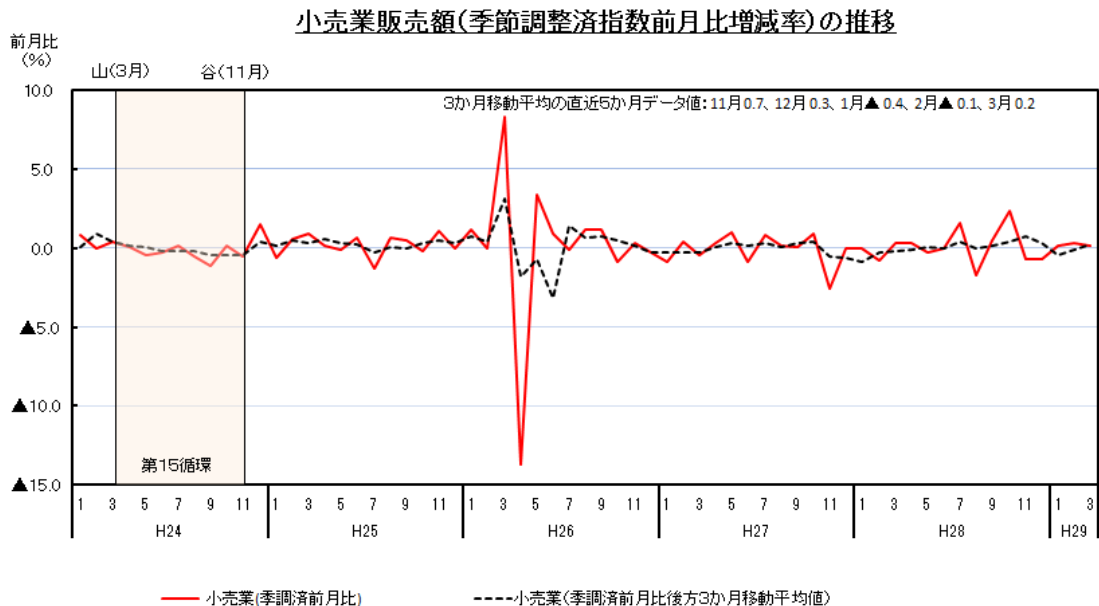
平成 29 年 4 月 28 日
 大臣官房調査統計 G
 サービス動態統計室

当省公表の 3 月分の小売業販売額（税込み）を指数化し、季節調整を行った指数水準（平成 27 年=100）は 100.7 となり、季節調整済指数前月比は 0.2%の上昇となった。後方 3 か月移動平均で前月比をみると 0.2%の上昇となった。

後方 3 か月移動平均の前月比を個別の業種ごとにみると、石油製品の価格上昇から燃料小売業が 2.5%の上昇、情報家電に加えエアコン、洗濯機などの生活家電が堅調な機械器具小売業が同 1.5%の上昇となった。また、インバウンド需要や化粧品の好調により各種商品小売業が同 0.1%の上昇となった。

一方、新型車効果が続くものの自動車小売業は同▲0.4%の低下、飲食料品小売業は前年に比べ気温が低かったことなどから全般的に低調で同▲0.3%の低下となった。

これらを踏まえて、季節調整済指数前月比の 3 月までのトレンドでは「持ち直しの動きがみられる小売業販売」とした。



注意：本基調判断を使用の際は、以下の点にご留意ください。

- ① 小売業販売額（平成 28 年名目：約 1 4 0 兆円）は、物価変動を含めた名目値であること。
- ② 小売業販売には、サービスの消費が含まれていないため、個人消費全体の動向を表すものではないこと（個人消費に占める財の割合はおおよそ 4 割弱）。